

令和7年度 学校経営構想

菊川市立六郷小学校

1 学校経営の基本方針

- (1) 現在の社会情勢、今後求められる教育及び中央教育審議会答申（令和3年1月）を踏まえ、中長期的視野に立った学校経営を推進する。
- (2) 学習指導要領（生きる力の育成）、静岡県教育（有徳の人の育成）、菊川市の教育（豊かな学びで歩み続ける人づくり）を踏まえ、活力のある六郷小教育を創造する。
- (3) 人間尊重の教育を基本理念とし、「どの子もかけがえのない存在」の共通認識に立ち、一人一人を、仲間を大切に作る学校を目指す。
- (4) 学びを深める授業づくりを通して、確かな学力の定着を図る。
- (5) 小学校教育の基盤は学級にある。今ある児童一人一人に目を向け、生徒指導の機能を生かした学級づくりをする。
- (6) 家庭や地域との相互理解を深め、連携して教育活動を推進する。
- (7) 全ての教育活動を通して、全職員の協働体制で教育目標の具現化を図る。

2 児童の実態

<よいところ>

- 明るく元気で、素直な子が多い。
- 男女の仲がよく、優しい子が多い。
- 目標が明確になると、一生懸命に取り組む子が多い。
- 授業で反応やつぶやきが多く見られるようになってきた。

<改善したいところ>

- △課題を見つけ、進んでよりよい取り組み（学習・生活）をしていこうという姿勢が弱い。
- △学習の基礎・基本の定着が不十分な児童がいる。
- △自己肯定感が低く、我慢する力（心の体幹）が弱い。
- △主体的に行動することに躊躇し行動に移せない。
- △自分の思いや考えを発信する力が弱い。

3 教育課題

- (1) 自ら課題を見つけ、考えをもち、伝え合いから、深め高め合っていく子の育成
- (2) 受容的な雰囲気の中で互いに支え合い、めあてに向けて努力できる学習集団の育成
- (3) 思いやりの心をもち、自らを成長させていく志をもつ子の育成

4 目指す学校

◆命と人権をはぐくみ、安全・安心な学校

- ア 命：笑顔で登校した子どもが笑顔で帰る【安全な学校】
- イ 人権：いじめ、不登校がなく、どの子も安心して笑顔で生活できる【安心な学校】
- ウ 学力保障：学力の3要素をバランスよく身に付ける【確かな学力】

5 学校経営目標

- (1) 「できた!」「わかった!」と学ぶ楽しさが実感できる「学び合い」のある授業づくりを進め、確かな学力を育てる。
- (2) たくましい心を支える強い身体を育てる。
- (3) 自己肯定感・有用感を高め、自分で考えて、行動する(自分の言葉で伝える)力と目標に向かってやり抜くたくましさを育てる。(心の体幹)
- (4) 人間尊重の教育を基盤にして、誰とでも関わり、よさや成長を認め合い励まし合える温かく支持的風土のある学級をつくる。
- (5) ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、誰もが安心して学べる教育環境をつくる。
- (6) 家庭や地域と連携・協働を図りながら、信頼される学校づくり、信頼をつくる頼もしい教職員集団づくりを推進する。
- (7) 特別活動を中心に自治的集団づくりを進め、「総合的な学習の時間」の本物体験による納得解の積み上げを図る。

- ・「学校が楽しい」と答える子供 92%以上
(「学校や学級が居場所になるようになら行動できましたか」)
- ・「みんなで何かをするのは楽しい」と答える子供 97%以上
(「仲間とともに声をかけ合って挑戦することができましたか」)
- ・「授業に主体的に取り組んでいる」と答える子供 88%以上
(「自分から学ぶことができましたか」)
- ・「授業の内容がよくわかる」と答える子供 92%以上
- ・「信頼する先生がいる」と答える子供・保護者 91%以上
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と答える子供 70%以上
- ・「話し合う活動で考えを深める、高めている」と答える子供 80%以上
- ・「自分自身と向き合い、ルールやマナーを守りましたか」 85%以上
- ・「自分自身と向き合い、モノ・人・コトに積極的に関わりましたか」 85%以上
- ・「信頼できる友達がいる」と答える子供 92%以上
- ・あなたの気持ちをわかってくれる人がある 85%以上
- ・友だちはあなたの話を聞いてくれる 90%以上

6 学校教育目標 「高め合い 未来を拓く子」

7 重点目標 「自ら考えよう やってみよう」

8 経営の重点と具体策

- (1) 主体的に学ぶ喜びやわかる授業づくりと確かな学力の定着
 - 「“自分から学ぶ子”を育成する 生活科・総合的な学習の時間の充実」の研究主題の推進
 - ・“自分から学ぶ子”とは①学びの振り返りを書きたい②次はこんな学びをしたい、である。
 - 単元を意識した授業づくりの推進
 - ・学習における児童の実態把握
 - ・教科横断的な学び(地域人材の活用)
 - 教師の意図的な仕掛け・支援の実践
 - ・付きたい力を明確にし、「魅力的な学習課題の提示」を行い、意図的な仕掛けや支援を大切に

- ・学習形態の工夫を図る。
 - ・対話の場と言語で表現する活動を意図的に設定し、伝え合いを推進する。
 - ・1人1台端末を生かし、ICTの効果的な活用を推進する。
 - ・図書室の環境整備をし、読書活動の充実と調べ学習での図書館の利活用をする。
- (2) 生徒指導年間計画の系統化、重点化、明確化
- ・各学期のおさえを明確にし、共通認識の下、目指す子供の姿に迫る具体的な活動を展開する。
 - ・つくり部（学びつくり部、仲間つくり部、心つくり部）を計画的・有機的に関連させ、重点目標の具現を目指す。
 - ・教務会→企画会→つくり部会→職員会議→学年会サイクルによる指導の重点化を図る。
- (3) 一人一人を大切にしている指導の推進
- ・児童のよさやよい表れを教師が見取り、自己肯定感や自己有用感をもたせる。
 - ・不登校、いじめ、問題行動等には、迅速に誠意をもって、組織的に対応する。
 - ・一人一人の内面に目を向け、共感的な子供理解と支援に努める。
 - ・特別支援教育の充実に向け組織体制で取り組み、特別な支援を要する子供への支援策を考えて実践する。
 - ・保護者との教育相談を充実させ、子供に対する願いと手だてを共有する。
 - ・全校の子供を全職員で見守り指導する学校体制、問題の早期発見・早期対応をする。
- (4) 活力とうるおいのある教育活動の推進
- ・ふれあいタイムは創造的な活動の機会とする。
 - ・特別活動や総合的な学習の時間（Go 郷タイム）における児童の主体性や興味・関心に応じた学びを進める。
 - ・運動会やタイム走等、目標に向けての体力づくりを計画的に進める。
 - ・自発的・自治的活動（学級活動）の段階的指導を進め、自治的能力の向上を図る。
 - ・ペア活動を通して、思いやりの心やリーダー性を育てる。
- (5) 心の教育の推進
- ・身に付けておきたい道徳性・心遣い・規範意識等を育成する。
 - ・「特別の教科 道徳」の考え、議論する授業の充実を努める。
 - ・人間関係づくりプログラムを活用し、人間関係づくりの能力を高める。
 - ・きれいで気持ちのよい学校にするために、だいじ掃除を進める。
 - ・国際教室からの発信を積極的に行い、国際理解を深める。
 - ・「六小の決まり」を基にした生活指導をする。
- (6) 家庭や地域との連携 【菊東学舎学びの庭】
- ・授業や諸活動に保護者や地域の教育力を取り入れる。
「六郷小の応援団（地域学校協働本部）」を活用した学びづくりを進める。
 - ・菊川東中学校区の小中学校との連携を図る
 - ・家庭や地域と連携した諸活動を展開する。
 - ・地域に根ざした教育活動を進める。地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人から学ぶ。
 - ・思いやりの心を育てる園児との交流を行う。
 - ・情報の受信・発信機能を強化する。（学校HP、各たより等）
- (7) 安全安心な教育環境の整備
- ・定期的に、また日常の安全点検をし、安全管理に努める。
 - ・地震や火災の避難訓練を計画的に行い、危機管理能力を高める。
 - ・地域やスクールガードや保護者と連携して安全な登下校の指導をする。

(8) 教職員の資質向上と組織の活性化

- ・研修推進委員会を行い、組織的に研修の充実を図る。
- ・校内研修において講師を招聘し、授業力の向上を図る。
- ・教職員人事評価制度面談を利用し、教職員と課題を共有して具体的な取組を確認する。

(9) 信頼される教職員

- ・信用失墜行為の根絶に全職員で取り組む。(3ゼロ+2運動)
(交通事犯、セクハラ行為、体罰の根絶+情報漏洩防止、公金の正しい取り扱い)

9 勤務環境改善経営の重点と具体策

(1) 勤務改善

- ・自己申告の退勤目標時間を設定し、早めに退勤することを意識する。
- ・ミライムを活用した勤務実態把握簿を作成し、時間外勤務の多い職員に対して、管理職が面談を行う。
- ・時間外勤務が多い職員は、その原因を踏まえ、削減のための具体策を自ら立てる。

(2) 校務の整理

- ・分掌の職務内容を明確にし、業務が特定の職員に集中しないよう分担・協力する。

(3) 教職員の意識改革

- ・会議の前に教務会をもち、議題を精査し、会議資料の事前配付に努める。
- ・職員会議等において、協議事項と連絡事項を区別し、提案は要点のみとする。